

日本文化研修で「博多町家・ふるさと館」へ行きました。

九州女子大学所属の短期留学生 10 名は、10 月 14 日（金）午後、福岡市の指定文化財に登録されている「博多町家・ふるさと館」へ日本文化研修に出かけました。「博多町家・ふるさと館」は、明治時代の博多織の織元「三浦家」の町家（住居兼工房）を移築復元したもので、明治・大正の時代博多の暮らしを再現し、当時の博多の歴史や文化を伝える人気の観光スポットです。

まず、「展示棟」で、博多の商家に伝わる民具の展示や博多の伝統工芸品である博多人形絵付けの実演を見学しました。留学生たちは、初めて目にする博多人形の絵付けに興味津々の様子でした。その後、人形師の方のご指導のもと、実際に絵付けの体験をしました。慣れない手つきではありましたが、それぞれ細部に気を配り、繊細な博多人形を完成させていました。



「みやげ処」で、博多の伝統工芸品や地元の銘菓、山笠グッズなど、博多の様々なお土産品の購入を検討しましたが、高くて買えませんでした。帰りには、櫛田神社にも立ち寄り、飾り山を見て帰ってきました。

今回の研修では、日本の代表的な伝統文化を実際に体験する事ができ、とても貴重な経験となりました。